

株式会社 アイコム

事業名 NC工作機械導入により品質向上とリードタイムの短縮、生産性の向上を図る

タレットパンチプレスの導入により時間が大幅に短縮

事業拡大の基盤に



導入したタレットパンチプレス

事業の背景・目的

当社は、1999年（平成11年）に川崎電気が民事再生法を申請する1年に、川崎電気のなかにおける社内外注として、雇用を目的に設立。川崎電気の協力会社として配電盤、制御盤、分電盤を製作している。

今後の自社の機械化、自動化を目指し、2013年（平成25年）のものづくり補助事業によりCAD化に取り組み、紙からCADデータに置き換えを実施。本事業で、NC工作機械を導入してCAM化を行い、品質、生産性の向上を図ることとした。

事業内容

2013年（平成25年）のものづくり補助事業で導入したCADを使い、データ化した情報を本事業で購入したタレットパンチプレスと直結し、制御機器取付パネル加工を行う。

これまで手作業で行ってきた加工を、機械化することにより、品質の向上、リードタイムの短縮を狙った。



電盤、配電盤等の板金加工作業加工機



加工完成した機器取付パネル



完成した制御盤

事業の成果

2013年（平成25年）ものづくり補助事業および本事業と2年間で、自動で機器取付パネルの加工が実現した。導入前のパネルの加工時間は102分必要であったが、導入後は14分で完成するようになり、一面当たり88分の短縮に成功。2名ないし3名での作業が1名で出来るようになった。加工時間、リードタイムの短縮により、今まで受注できなかった短納期物件も受注可能となり、受注量も徐々に増えてきている。

また、残業の削減、照明、空調などの削減とつなぎ、従業員の負担軽減にもなっている。機械化、自動化することで品質の向上、顧客の満足度も非常に高まり、より良い評価を得ている。

今後の展望

2017年度（平成29年）には三菱ファイバー二次元レーザー加工機を導入し、板金加工から配電盤、制御盤、分電盤の一貫工場を目指して今後努力していく。つねに高品質な製品を製造・提供することを旨とし、機械化・自動化・データ化を今後も継続して進めていきたい。

また事故、災害にあった時に復旧時間をいかに短縮するかが問われる時代が来ると考え、これに対応した新製品、制御盤のユニット化の開発に挑戦していく。

企業として、安定した企業を目指し従業員の高齢化に対応した環境づくりを行い、安心して働ける企業、地域に必要とされる企業、地域貢献できる企業を目指していく。

株式会社 アイコム

- 代表者：大浦 信一
- 設立年：2006年（平成18年）
- 所在地：山形県南陽市小岩沢158
- 資本金：300万円
- 従業員：43名
- TEL：0238-50-1778
- FAX：0238-50-1780
- e-mail：info@aikomu.co.jp
- URL：http://www.ai-komu.com/



大浦社長

業務内容

当社は高い品質と幅広いニーズにお応えした分電盤・制御盤・配電盤の設計・製造を行っている会社である。トヨタ看板方式の生産システムによって、時間やスペースの無駄を省くことで不必要なエネルギーの使用を無くし、効率よい経済的な生産体制で製造を行っている。現在、当社では100kwの太陽光発電システムを導入。工場の電力の一部を賄うことで、二酸化炭素排出量の排出量を出来る限り削減。環境に優しい会社を目指し、会社の基盤となる従業員の待遇改善に積極的に取り組み、高い技術を持った人材の育成を目指している。